

主の受難日記念礼拝

2020年4月10日(金) 午後7時～

黙 禱

賛 美 教会福音讃美歌 118 番 『丘に立てる荒削りの十字架にかかりて』

祈 禱

聖 書 イザヤ書 53 章 4-5 節

ヨハネの福音書 12 章 24 節

賛 美 教会福音讃美歌 121 番 『ああ主は誰がため世にくだりて』

聖 書 マタイの福音書 27 章 11-38 節

宣 教 『ゴルゴタ-あなたの十字架をキリストが・・・』

聖 餐 式 教会福音讃美歌 126 番 『血潮したたる主の御頭』

賛 美 教会福音讃美歌 136 番 『生くる甲斐もなしと独り定めたりし者を』

頌 栄 教会福音讃美歌 271 番 『父・子・聖霊のひとりの主よ』

祝 禱

後 奏



『ゴルゴタ-あなたの十字架をキリストが・・・』

[要旨]

説教者 原田憲夫

本日は「主イエス・キリストの受難」を記念する大切な日です。一人ひとり十字架の主イエス・キリストを見上げ、祈りましょう。

【1】「あなたはユダヤ人の王なのか」(11-14)

クリスマスの季節に必ず読まれる聖書箇所ですが、東方の博士たちが都エルサレムまで長い旅をしてきて、ヘロデ王に尋ねた言葉を覚えていますか。

「ユダヤ人の王としてお生まれになった方は、どこにおられますか。・・・」(マタイ2:2) 今日、聖書箇所ではローマ帝国の地方総督ピラトが、「あなたはユダヤ人の王なのか」(11)と尋ねます。このように福音書は、一貫して「神の国の王キリスト」を証します。

ところが、「神の国-幸いな人生」へと招く主イエス・キリストをねたむ祭司長、長老たちには主イエスの存在は面白くありません。ついに、主イエスをローマへの反逆者だと訴えたのです。

祭司長、長老たちが罪状を訴える間、キリストはずっと<沈黙>されます(12-14)。審問にあたったローマから派遣された地方総督ポンテオ・ピラトはこの沈黙に驚き、イエスに同情するかのようによい。言います。「あんな不利な証言をしているのになぜ黙っているのか。」

けれども、この<キリストの沈黙>こそ、私たち全人類の「救いの扉-神の御心」だったのです。

【2】「バラバ・イエスカ、キリスト・イエスカ」(15-31)

当時、「過越祭」の時に囚人を一人赦免する習慣がありました。「恩赦」です。ピラトはその機会を設け、群衆に尋ねます。

「おまえたちはだれを釈放してほしいのか。バラバ・イエスカ、それともキリストと呼ばれているイエスカ。」

ピラトはよもや極悪人バラバを釈放してくれと群衆が要求するとは思っていません。ところが驚いたことに、群衆は「バラバだ」と叫んだのです。祭司長、長老たちに誘導された群衆は、バラバの赦免を願い出たのでした(21)。

群衆の叫びはさらにエスカレートします。

「十字架につける！」と。

総督ピラトにはためらいがありました。ピラトは時の権力者であり、正義はピラトの手にあつたはず(19)。けれども、群衆の「十字架につける」と叫ぶ、獣のような激しい叫びに暴動を恐れ、ピラトは正義を投げ出してしまいます。『この人の血について私には責任がない。自分たちで始末するがよい。』

そして「バラバを釈放し、イエスはむちで打ち十字架につけるために引き渡した」のです。

当時のユダヤの民はみな、「十字架」が「神による刑罰のしるし」であることを知っていたはず(19)。けれども民は思い出せないのです。主イエスの慰めの声を。群衆は忘れてしまったのです。主イエスの愛のまなざしを。

兵士たちは主イエスに緋色の衣を着せ、その頭に茨の冠を、右手に葦の棒をもたせ、「ユダヤ人の王様、万歳」とからかいました。そうしてゴルゴタ-十字架への道を歩かせるのでした。

【3】「ゴルゴタ-そこはあなたの十字架を・・・」(32-38)

「十字架につける！」と叫ぶ声と、「バラバを釈放せよ！」と要求する声(32)が激しく行き交いました。このとき、きわめて逆説的ですが、「十字架につける！」との叫びは、神の救いを求める「叫び」となったのです。

行き交う叫びの中で、実に、罪のない聖い、神の国の王イエス・キリストと、罪人の代表ともいえるバラバとが入れ替わったのです。

そして実に、このバラバこそ、今日ここにいます私たち-あなたや私の姿なのです。

すなわち、キリストの十字架は、本来、私たち人類が神に対して負うべき「罪に対する刑罰=滅び=十字架」だったのです。

しかしキリストは、私たちの-あなたや私の十字架をその身に負い、その罪を贖うためにゴルゴタでそのいのちを捨てられたのです(ガラテヤ3:13a)。(参照) イザヤ53:4-5、1ペテロ2:24。

▶ゴルゴタ-十字架のキリストを見上げる今日、この十字架こそあなたの負うべき十字架であったことをどうか心で受け止めて下さい!

そして、あなたを滅びから救うためにあなたの身代わりとなって、十字架でいのちを捨てられた「神の国の王、救い主イエス・キリスト」を心に迎え、永遠の救いにあずかって下さい!